

令和6年度 千葉大学 学生スタートアップ支援事業 公募要領

1 事業目的

起業に関心のある千葉大学の学生に対して、大学やエリアを超えた活動の場を提供することで、アントレプレナーシップを涵養するとともに、将来的な千葉大学発スタートアップ創出つなげる。具体的には、学内だけにとどまらない他大学・他エリアで行われるビジネスコンペへの参加、他大学・他エリアの学生アントレプレナーとの交流の場の創出を企画・実施し、これに参加する学生を公募し採択する。

2 事業期間

採択日（7月を予定）から令和7年3月31日（月曜日）まで

3 公募概要

コンペや各コースの詳細等については後日採択者へ連絡します。

(1) ビジネスコンペ参加部門（5名程度）

他大学・他エリアで開催される学生ビジネスコンペへ参加するための活動資金（旅費、宿泊費等を含む）を助成します。

- ✓ 11月（予定）に金沢で行われる「Matching HUB Business Idea & Plan Competition (M-BIP)」に参加して全国の大学生ビジネスプランと競っていただきます。昨年度のイベントの様子はこちら
- ✓ コンペ参加へ先立ち、IMOが提供するアクセラレーションプログラムを受講しプランのブラッシュアップを行います（7月～9月予定@西千葉）。このアクセラレーションプログラムに必ず参加できることが条件です。

(2) アントレプレナーシップ醸成部門（1コース各2～5名程度）

千葉大学IMOのスタートアップ・ラボが、以下の他大学・他エリアの学生アントレプレナーとの交流の場を提供します。

- ✓ Aコース（3～5名程度）
HSFC（北海道スタートアップエコシステム）との連携交流。北海道大学、小樽商科大学と連携して地域課題解決型ビジネスプラン作成プログラムへ参加@北海道十勝地区（8月Web座学、9月現地（2泊3日）、～12月Web座学、2～3月対面発表会）を予定しています。
- ✓ Bコース（2～3名程度）
PARKS（九州スタートアップエコシステム）との連携交流。具体的には九州工業大学及びOIST（沖縄科学技術大学院大学）等と連携して起業準備中の研究者等との交流および現地アクセラレーションプログラムへの参加を予定しています。（九州沖縄地区・10月～12月で2泊3日）を予定しています。
- ✓ Cコース（2～3名程度）
Tongali（東海地区大学コンソーシアムによる起業家育成プロジェクト）との連携交流。具体的には8月下旬に三重大学と連携したアントレプレナープログラ

ムの参加を予定しています。プログラムにおいては、高校生向けアントレプレナーシッププログラムのメンターとしての役割もあります。事前学習プログラムも用意していますので、「教える側」を通じてアントレプレナーシップマインドを醸成したい学生向けです。

- ✓ Dコース（2～3名程度）MASP（みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム）との連携交流。具体的には公立宮城大学等と連携してアントレプレナープログラムへの参加、意見交換などを予定しています。（仙台地区・8月～9月で2泊3日）を予定しています。

4 募集対象者

令和6年度現在、本学に在籍する学部生、大学院生で、学生教育研究災害傷害保険や付帯賠償責任保険等の加入が済んでいる者のうち、以下の全てを満たす者

（1）ビジネスコンペ参加部門

- ・ 他大学・他エリアで開催される学生ビジネスコンペへの参加を希望する者
- ・ 自らビジネスプランを持つ者
- ・ 千葉大学IMOが提供するアクセラレーションプログラムに参加が可能な者

（2）アントレプレナーシップ醸成部門

- ・ 今現在は自らビジネスプランを持たないが、将来の起業に関心がある者
- ・ 各コースのプログラムについて、責任をもって必ず参加できる者
- ・ A～Dコースの重複した申請は妨げない

5 助成対象と助成方法

- ✓ 上述（1）、（2）の各部門に関する活動費（旅費、宿泊費、ビジネスプラン作成に係る費用等）として15万円/人を上限に助成します。（4 募集対象者（1）の参加（2）交流の場の各コースは助成上限額範囲を考慮し提供）
- ✓ 活動費執行の際、採択者は学術研究・イノベーション推進機構（IMO）スタートアップ・ラボ事務局へ申請を行い、活動の承認を経てIMOがそれぞれの支払先に支払うこととします。

*各個人に支払われるアワードとは異なります。

*IMOが活動費として支払うことができるものは、本事業対象のビジネスコンペ又は各コースのイベント参加費、交通費実費、指定宿泊施設の宿泊費、本事業上IMOが指定する教材費用とします。

6 公募・実施スケジュール

公募期間：5月31日～7月1日（17：00）

審査期間：7月4日～7月16日

採択日：7月22日（予定）

7 審査・評価の方法

IMO において書類審査を行い決定します。

8 申請

【申請方法】

申請書（(1) ビジネスコンペ参加部門申請者は別紙1を、(2) アントレプレナーシップ 醸成部門申請者は別紙2)をダウンロードし、必要事項を記入の上、pdf にエクスポートし、募集ページ内の「申し込みフォーム」にアップロードしてください。申請書ファイル名は下記の命名規則に従ってリネームしてください。

ファイル名 命名規則：{"学籍番号_氏名"}. pdf

e. g. 00x0000x_千葉太郎. pdf

e. g. 00x0000x_chiba_taroh. pdf

ビジネスコンペ参加部門へチームで申請する場合はチーム代表者の学生番号、氏名でリネームし、チーム代表者が申請書のアップロードを行ってください。個人に加えてチームでの申請を妨げないが、1 チームに対する助成対象者の上限は3名までとします。他エリアとの交流や受け入れ先機関主催イベント等参加があるため、申請書は日本語で作成してください。

【申請に係る相談窓口】

IMO スタートアップ・ラボ事務局

imo-entrepreneur@chiba-u. jp

【申請書送付先】

募集ページ内の「申し込みフォーム」にアップロードしてください。詳しくは募集ページを参照してください。

9 その他

- ・本事業のコンペや各コース、説明会等に参加し、授業等を欠席しても公欠の対象となりませんので予めご了承ください。
- ・採択情報は IMO スタートアップ・ラボ HP にて公開します。
<https://startup-lab.chiba-u.jp/>
- ・採択情報は所属学部・大学院にも IMO から通知します。